



ご寄付に感謝いたします



2022年8月1日～2022年12月31日にご寄付と賛助会費をいただいた皆様

- ・大久保 育子 様・松元 則子 様・崎田 健心 様・皆森 信子 様・泉 摩依 様・坂下 政子 様・宇都 仁恵 様・日高 洋明 様・弘中 信厚 様・立元 雅子 様
- ・富迫 美幸 様・原田 和子 様・井上 智子 様・永井 昌博 様・富田 真紀子 様・松田 公利 様・小田 敏子 様・峰 瑞枝 様・武田 敏子 様・矢野 小枝子 様
- ・天達 洋子 様・川越 孝幸 様・大山 さよ子 様・南谷 佳子 様・興梠 知子 様・愛甲 保子 様・甲斐 ケイ子 様・坂田 文江 様・長友 俊博 様・堀越 照代 様
- ・河野 加代子 様・きりん 様・岩切 洋 様・直 様・牧山 友子 様・矢野 伸子 様・永森 克志 様・上原 道子 様・滝 真理子 様・矢野 英子 様・医療法人社団わかば小児歯科 旭爪 伸二 様・野浪 俊子 様・江口 昌文 様・柳田 明子 様・Bar扇 土光 政徳 様・市原 美宏 様

そのほか9名の方々からご寄付をいただきました。◎ 賛助会費もご寄付しております。上記は、お名前表示をご許可いただいている皆様です。

※ ホームホスピス宮崎は、認定NPO法人です。認定NPO法人へのご寄付は、寄付者が税制上の優遇措置（約40%相当額の所得控除または税額控除）を受けられます。また、相続や遺贈による財産をご寄付いただいた場合は、その全額が非課税となります。

【会費納入・ご寄付の方法】

«銀行振込» 宮崎銀行 宮崎支店 普通 1634770

口座名義：認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎 理事長 市原美穂

«郵便振替» 口座番号：01700-1-88730

加入者名：NPO法人ホームホスピス宮崎

«クレジットカード» QRコードを読み取り、ホームページからの手続きとなります。

マンスリーサポートや毎年の会費自動引き落としができます。



寄付のページ

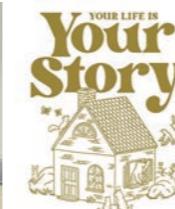


チャリティーティーシャツ販売しました！ JAMMIN×HHM

JAMMINさんは、京都のチャリティーファッションブランドです。

2022年9月末～12月10日まで、ホームホスピス宮崎とのコラボTシャツやパーカー、トートバッグなどを販売していただきました。

多くの皆様にご購入いただき、ホームホスピス宮崎への寄付額が目標を超える15万円以上となりました。ご支援ありがとうございました。



YOUR LIFE IS YOUR STORY ～あなたの人生は、あなたの物語～

たくさんの人が集まる暖かい場所に、大小さまざまな動物たちを思い思いのリラックスした姿で書くことで、その人らしくその場所で生きる意味をデザイナーさんが表現してください、ホームホスピスの活動がぎゅっと詰まったデザインとなりました。かあさんの家やHALEたちはな、書き書きボランティア等、どの活動にも当てはまるメッセージとして、主催研修会でスタッフが着用したり、他のホームホスピスの皆さんも購入してくださったり、今回のコラボで新たな発見や繋がりを感じました。販売期間は終了しましたが、事務局に少し在庫がございます。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

ホームホスピス宮崎の活動をご寄付や賛助会員としてサポートしていただけませんか？ オンラインで簡単にお申し込みいただけるマンスリーサポータープロジェクトも始めました。詳しくは下のQRコードから、または、お問合せください。



HALEたちはなのサポートのために！受付が始まっています。



かあさんの家のサポートのために！準備中です（お問合せください）。



現在の寄付・会費受付ページはこち

今後の予定

2 がん患者と家族のためのサポーター養成講座

泣くことしかできなかったわたしを変えてくれたもの
～24歳でがんになって感じたこと～

日 時：2023年2月19日(日) 13時～16時
形 式：オンライン開催 (ZOOM)
講 師：鈴木 美穂 様 (認定NPO法人マギーズ東京共同代表理事／元日本テレビ記者・キャスター)
コーディネーター：板井 孝一郎 様
定 員：60名
参加費：無料 申込方法：ホームページより事前申し込み

1 陽だまりカフェ特別講演会

回想法の素晴らしさについて～一般回想法とライフレビュー～

日 時：2023年1月28日(土) 10時～12時
場 所：ホームホスピス宮崎 著らしの保健室
講 師：細見 潤 様 (ウエルフェアみやざき総合研究所 所長)
定 員：15名 (先着順)
参加費：無料 申込方法：事前に事務局までお電話ください

3 宮崎市在宅療養市民公開講演会

日 時：2023年3月4日(土) 13時～16時
場 所：JA AZMホール 別館202研修室
講 師：森田 洋之 様 (ひらやまのクリニック院長)
中迎 聰子 様 (株式会社 いろ葉 代表取締役)
定 員：100名
参加費：500円 申込方法：ホームページより事前申し込み



『HHMにゅーす』は、ホームホスピス宮崎の新しい動きや情報、ボランティア活動のあれこれをお伝えします。

病気ばかりを見ていると、大切なことが見えなくなってしまいます

昨年、ロシア軍によるウクライナ侵攻、新型コロナ感染症との戦い、物価高との戦いなどで、2022年の世相を一字で表す文字「戦」が毛筆で表現されました。虎の荒々しさから受け継いで今年は卯年、筆は4000年以上も昔、うさぎの毛を束ねて糸で巻き付けたものから始まっています。さて、2023年の「一字」は希望のある文字になればと願います。

HALEたちはなが、10月で開設1周年を迎えました。新設されたみづばち診療所、短期入所leilei、日中一時支援ohana、それに訪問看護ステーションばかりおんの活動は、予想を超えて多くの方々にご利用いただいております。短期入所を利用されているお母さん方から、「こんなにぐっすり眠ったのは何年ぶりでしょう」「ここに来るようになって表情が豊かになりました」など感想が寄せられています。

『この子がいるので外出できない』と思わせる社会には、障がいを抱えている方々や家族に対して、知らないが故の偏見があることも残念ながらあります。まだまだ始まったばかりの支援体制ですが、ご家族やきょうだい達の辛さを受け止める場所になればいいなと思っています。

1周年を記念して、12月3日に、ジャズコンサートとシンポジウム～身近な人の困難に寄り添える社会～を開催しました。開設式典でサックスを祝奏してくださったご縁で、宮里陽太さんが今回の企画を快諾、プロユニットを率いて奏でる音色は、久しぶりの生演奏でもあり、会場は深い感動に包まれました。シンポジウム「きょうだい支援の必要性」では、沖 侑香里さんが、ご自身も障がいのある妹さんと育った当事者の視点でお話しされ、宮崎からも当事者として親の立場、きょうだいの立場から率直に気持ちを話してくださいました。終了後、参加者の皆さんが優しい柔らかな表情で出て来られ、「よい会でしたよ」と会場を後にされた様子に、このイベントを通して人を想う優しさが伝わったのだと感動しました。

みづばち診療所は、医ケア児の診療から、がん末期の方や高齢の難病の方まで、年齢も疾病も幅広く診ており、必要であれば宮崎市内、どこにでも飛んでいくというスタンスです。患者さんも増えて4月から常勤医2名体制になります。そのため診療所が手狭となり、HALEたちはなの1階に移転（たちはな学舎と入れ替え）いたします。

コロナ感染症は今だ衰えを見せず、病院や施設では面会謝絶が続いている。3年前の緊急事態宣言以降、かあさんの家には「看取ってやりたいのですが、面会できますか」というご相談が、急増しました。

病気ばかりを見ていると、大切なことが見えなくなってしまいます。特に人生の最終章を迎えるようとしている人にとって、残された時間はかけがえのないものです。ご家族が悔いなく看取れるように支えることが、かあさんの家の理念ですから、感染予防をしながらご家族に寄り添っていただき、この3年間で30名の方々が穏やかに旅立たれました。かあさんの家の日々の「暮らし」の中で、声を掛けたら少し表情が動いたよ…とか、プリンが食べられたよ…とか、ほんの小さな希望があります。そんなことの積み重ねが、人として生きていことなのだと思います。

今年一年、皆様にとって多くの幸せが積もる日々となりますように。そして、本年も、ホームホスピス宮崎をご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年 年の初めに
(ホームホスピス宮崎理事長 市原美穂 記)



HALEたちはな

【住所】〒880-0805 宮崎市橋通東3丁目1-31
【TEL】0985-41-8980
【FAX】0985-41-5480
【メール】tachibana@npo-hhm.jp
【HP】https://hale-tachibana.jp/
【FB】facebook.com/tachibana.east3/

みづばち診療所 (HALEたちはな3階)

【TEL】0985-41-8938
【FAX】0985-41-9800
【メール】mitsubachi@npo-hhm.jp

HALEたちはな

認定NPO法人 ホームホスピス宮崎 本部 (事務局)

【住所】〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6
【TEL】0985-53-6056
【FAX】0985-53-6054
【メール】office@npo-hhm.jp
【HP】https://www.npo-hhm.jp/
【FB】facebook.com/homehospice.miayasaki/
【ツイッタ】twitter.com/hhm Miyazaki 2196
【インスタ】instagram.com/hh_miyazaki

ホームホスピス宮崎

HALEたちはな開設1周年記念

コンサートとシンポジウム

～身近な人の困難に寄り添える社会に～



このイベントは、日本財団の助成事業「難病の子どもと家族を地域で支える取り組み」の一環として、2022年12月3日土曜日にMRTmiccダイヤモンドホールにて開催しました。小さなお子様からご年配の方まで、130名を超える皆様のご来場ありがとうございました。

コンサートは、ミュージシャン山下達郎や竹内まりやのツアーメンバーでもある、宮崎出身のサックスプレイヤー宮里陽太さんが率いる「宮里陽太Jazz Quartet」。12月ということもあって、クリスマスソングの演奏もあり、心にしみるサックスの音色に癒しの時間となりました。

講演は、ヤングケアラーの問題にも取り組んでいらっしゃる静岡きょうだい会代表の沖侑香里さん、またシンポジウムには、医療的ケアが必要なきょうだいやお子さんがいらっしゃる方々、また在宅医療や医療型短期入所で医療的ケア児を診療している医師にも参加していただきました。耳慣れない「きょうだい児」という言葉を知り、家族それぞれの立場での体験を聞いて視野が広がるとともに、家族やきょうだいへのサポートは、貧困や学習障害など違うシチュエーションでも当てはまる感じた方もたくさんいらっしゃいました。

今後も「0歳から100歳超えて病気や障がいにかかわらず住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を目指して活動していきます。

- コンサート 宮里陽太Jazz Quartet
- 講演 「きょうだい支援の必要性～当事者の声から見えてくるもの～」
(講師) 沖侑香里さん(静岡きょうだい会代表)
- シンポジウム 「地域で難病の子どもと家族を支えるケアについて真剣に考える」
(座長) 三宅玉恵(HALEたちはな看護師・元宮崎県立看護大学教授)
(シンポジスト) 澤田一美さん(はながしま診療所副院長)・蔵本歩さん(母親)
奈須彩乃さん・奈須美幸さん(きょうだい)
(コメンテーター) 沖侑香里さん・堤育子(HALEたちはな施設長)

参加者の声

・演奏会の中で「Precious」(曲名)にとても心がふるえた。きょうだいにも大きな精神的ストレスがかかるることを理解してご家族にも関わっていくことが、大切だと看護学生として新たな視野を広げることができた。(10代学生)
・全ての講演がそれに印象的でした。ここまで集めていただいてとても学びが深まりました。すばらしい企画だったと思います。感動が沢山ありました。沖さんの話は学校などでもして欲しいです。(50代自営業)
・子供たちの声を聞くことができて良かった。自分の子育てを思い出し涙々です。(50代医療従事者)
・どのお話を印象に残りました。私は相談支援専門員として障がい児に関わることが多いですが、ほとんどが発達障がいの子です。その兄弟姉妹も本日の「きょうだい支援」が必要なのだと考えさせられました。(60代福祉関連従事者)
・兄弟のストレスはフォーカスされにくいので視野が広がるとても良い機会でした。子どもにとっては、障害あるない関係ないという言葉が身にしました。(20代学生)



宮崎県医療的ケアネットワーク Pono(ポノ)

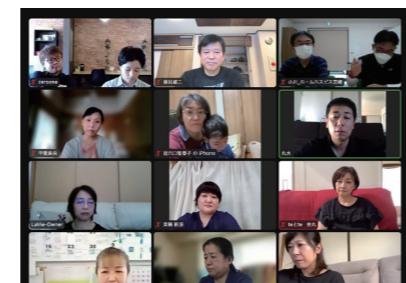


休眠預金活用事業の一環として、県内の医療的ケア児家族会の皆さんや地域のサポーター(訪問看護ステーションや相談員の方々)が参加するオンラインミーティングを開催しています。

この会は、月に1回程度、ZOOMを使った1時間のオンラインルームで、地域の情報やそれぞれの活動の情報を共有したり、要望などを出し合ったりと様々な意見の集約の場にもなっています。この取り組みを始めたことで、それぞれの活動をお互いに知ることができ、地域の課題も見えてきました。

また、様々な立場の横の繋がりができることで、課題を取り組むための大きな力になります。

普段は、ライングループでも情報を交換し合っています。ご家族、サポーター、医療関係の方など、どなたでもご参加いただけますので、是非お問い合わせください(0985-41-8980)。



お気軽にご参加ください。

ささまなご相談をお受けしています。

ホームホスピス宮崎では、下記の相談事業を行っています。相談会場や期日については、各相談によって異なりますので、お電話やホームページ(QRコード)でご確認いただけます。

○病気(がんなど)や生活のこと

場所：県立宮崎病院

宮崎県がんサロン等運営支援事業

2022年12月



ふらっとカフェ

「ふらっとカフェ」は、どなたでも気軽に立ち寄りたいときに、お茶を飲んだり、誰かに話を聞いてもらったり、本を読んだり…できる場所です。



カフェは、新しくなった県立宮崎病院の4階で、毎月第2水曜日の午後1時30分～4時にオープンしています。
【県立宮崎病院】
宮崎市北高松町5-30

○在宅療養や在宅介護のこと

電話相談

宮崎市

在宅療養でんわ相談室

不安なことや誰かに聞きたかったりあつたら
まずは電話で相談してみてください！



在宅療養とは、自宅で介護や医療を受けながら生活することです。現在、在宅療養をしている方、これから在宅療養を考えている方や迷っている方、そしてそのような方のご家族、ご友人など…在宅療養について誰かに聞いてみたいことがある方は、一度お電話ください。専門家が丁寧にアドバイスをいたします。

専用電話：0985-67-5003

受付時間は平日の10時～17時です。

なお、通話内容は記録のために録音させていただく場合があります。

12月22日にクリスマス会をしました。

飛び入りサンタがウクレレで演奏するクリスマスソングに合わせて歌ったり、サンタさんからプレゼントをもらったり、とっても楽しい時間を過ごしました。スタッフも、サンタクロースやトナカイ、クリスマスツリーになって、会を盛りあげました。



○認知症のこと(ご自分やご家族)

場所：暮らしの保健室(宮崎市恒久)

宮崎市認知症カフェ運営支援事業

陽だまりカフェ

人生100年時代。高齢化に伴い、介護が必要な方が増え認知症の方も6人に1人と増加しています。陽だまりカフェは、気軽に参加できる場所です。一緒にお茶を飲みながら話をしたり、アロマやヨガなどを楽しみながら、安心して暮らせるよう一緒に考えていきたいと思います。交流の場ですので、どなたでもお気軽にお越しください。

- 介護で困っておられる方
- 体のことや生活に不安のある方
- 認知症の方・ご家族・友人

日時：毎月 第2・第4 土曜日 10時～12時

場所：ホームホスピス宮崎「暮らしの保健室」
宮崎市恒久2丁目19-6(勝正館さんから南へ2軒目)駐車場あり
【お問い合わせ先】0985-53-6056 受付10時～17時

なるべく予約をお願いします。

無料 挽きたてコーヒー 果汁付

○お薬や健康のこと・障がいのこと

場所：HALEたちはな 1F「カフェ游樁」



無料

お薬と健康の相談カフェ



場所：宮崎市橋通東3丁目1-31 HALEたちはな 1F
時間：毎月第2・第4月曜日 AM11時～12時

カフェにお越しになれない方も、この時間に相談員とリモート(パソコンやスマホなど)でお話しできます。お気軽にお問合せください(要予約 0985-41-8980)

